

基調講演

今なぜ「徳性」の教育か

～子供たちのいのちの根を培う ことばのちからの不思議～



つちや ひでお 土屋 秀宇氏

略 歴

昭和 17 年 千葉県生まれ。
昭和 40 年 国立千葉大学教育学部英語科卒業。教員人生スタート
13 年間にわたり小・中学校の校長を歴任。船橋市立法典東（ほうでんひがし）小学校校長時代に手掛けた実践研究「自ら学ぶ力を育てる漢字指導」で第 4・3 回「読書教育賞」受賞。
幼児・児童への漢字教育の普及に貢献したとして、中国古代学の権威、白川（しらかわ）静（しずか）博士の功績を称えた「白川静記念 東洋文字文化賞」を受賞。
東京都世田谷区の日本語教育特区「美しい日本語」の小学校作業部会長として、教科書「日本語」の作成に携わる。

現在、漢字の成り立ち学習や漢詩などの古典素読を中心とした「楽しい親子国語教室」の出前授業をしながら東日本大震災の被災地を巡るなど、教職員研修、講演等を通じて、国語教育の正常化に努めている。

一般社団法人「母と子の美しい言葉の教育」推進協会会長
「漢字文化振興協会」理事 「国語問題協議会」評議員 教師塾「まほろば」顧問
日本テレビ「世界一受けたい授業」 フジテレビ「みんなのニュース」などに出演

著書

- ・「校長室からのメッセージ 愛語よく廻天の力あり」(登龍館)
 - ・「校長室からのメッセージ 花無心 蝶無心」(登龍館)
 - ・「子供と声を出して読みたい 美しい日本の詩歌」(致知出版社)
 - ・「なるほど漢字ワールド」3部作 (PHP 研究所)
 - ・「日本語「ち」と「じ」の謎」(光文社文庫)
- など執筆
- ・福島民友新聞「親子で読みたい教育の話」平成 21 年 4 月より連載中
ほか多数

入場無料

日程 2019 年 6 月 4 日(火)

時間 9 時 30 分 - 11 時 30 分

会場 まつもと市民芸術館主ホール

自他一如の心を育てる

人が喜んでいる姿を見たら、自分のことのように喜び、人が悲しんでいる姿を見たら、自分のことのように悲しくなる。いわば 自分と他人が一人の人間の如く感じられる「自他一如の心」は本来子供に内在しているものです。その心を教育の力で子供たちから引き出してやる、それが私の目指す「徳性の教育」です。そして、子供たちの「徳性」を育む鍵を握っているのが「言葉」です。その「言葉」と「徳性」の関係を、事例を紹介しながら、皆さんといっしょに考えてゆきたいと思っています。

ACCESS MAP



お問合せ：(公社)才能教育研究会 電話 0263-32-7171